



しあわせ みんなで築こう

No. 18

平成29年4月25日
ハッピーひがし野



春を迎え、過ごしやすい日が続いておりますが、皆様お変わりありませんか。地域福祉活動計画は第二期に入りました。今回は平成28年度の活動の総括と、平成29年度の計画を中心にご報告いたします。

平成29年度の地域福祉活動計画への取り組み

＜モットー＞楽しいお付き合いの輪をふくらまそう。活動の始まりはあいさつから。
 ＜目指すところ＞住みなれた地域で安心して住めるよう、お互い支え合うことができようになりたい。
 ＜進め方＞地域にとって過大な負担にならないよう、一歩ずつ着実に実行します。

関係づくり	<p>目標: 地域に合った情報発信を行います。</p> <p>課題: 若い世代の転入者が多いです。地域行事の周知が難しいです。</p> <p>対策: 団体間での連携と情報共有を目的に地域内団体間で連絡会議を行います。</p>
生活づくり	<p>目標: 地域の活動に、市民がより多く参加する機会をつくります。</p> <p>課題: 町内でのお付き合いが拡がりにくいです。</p> <p>対策: 郷州沼崎線沿い花壇90ヶ所への花植を町内会/自治会共同で開催します。 あいさつから始めて、きっかけづくりをします。</p>
場づくり	<p>目標: 地域の結びつきを強める交流の場をつくります。</p> <p>課題: 交流するための集まれる場所が少ないです。</p> <p>対策: 集いの場「わくわく亭」の拡大を図ります。 開催回数の増加、高齢者参加の増加、地域への浸透 ボランティアやサークルの新規立上げと活動をバックアップします。</p>

第一期の最終年度は12項目の対応策を掲げ、2か月に一回の会議で実行委員の皆さんの協力をいただきながら活動を進めてまいりました。この中で、「わくわく亭の立上げ」、「郷州沼崎線沿い花壇90ヶ所の花植えを皆様の協力のもと実現」、「連絡会議による団体間の連携強化」、「ボランティアグループへの市からの地域福祉活動助成金確保」といった項目で成果が上がりました。しかし「情報共有のためのツール強化」、「町内会／自治会によるイベント共同開催」、「ひがし野地区の集会所確保」、「人材育成」などは成果を上げることができませんでした。

そこで第二期計画にあたっての対応策は、過去5年間の活動で前進があり、今後集中することによって大きな効果が見込まれる項目に絞って活動することにしました。これに伴い会議も4か月に一回と大幅に減らしました。

特に注力するのが「わくわく亭」で、子供から高齢者まで幅広い世代が集い、おしゃべりやイベントを楽しみながら、仲間づくりをする場として発展させていきます。また同じ地域内で活動を連携しやすくするネットワーク作りとしての「地域連絡会議(情報交換と連絡用の名簿配布)」は重要な会議として継続します。

前回の広報紙でもご説明しましたように、第一期では「絆づくり」を目指してきましたが、第二期では制度面(特に介護保険制度改正等)から生じる「高齢者など弱者の見守りと生活支援の実現」へと目標が根本的に変わる中で、ここに掲げる対応策だけでは不足の感も否めません。しかしできることに注力する中で成果を積み上げながら、新たな目標対応への模索も行っていきたいと考えております。

ハッピーひがし野広報の発行不定期化について

広報紙「しあわせみんなで築こう」は、地域福祉活動計画の状況報告を目的に平成24年度後半から3ヶ月毎に発行してまいりました。今後は不定期として重要なお知らせがある場合に発行する計画です。今までのご愛読に感謝申し上げますと共に、地域福祉活動計画への変わらぬご協力をお願い申し上げます。

わくわく亭の予定

ハッピーひがし野主催の「わくわく亭」は地域住民間の交流による絆づくりを目的に、北園森林公園内で飲み物とお茶菓子を用意し井戸端会議の雰囲気を提供する場所です。昨年10月に開始し4月開催分を含む4回で平均88人という大勢の皆さんにお出でいただき、大いに楽しんでいただきました。平成24年度上期は以下の計画をしています。

- 開催日：5/13日(土)
5/27日(土)
6/17日(土)
- 時間：10:00~14:00
- 場所：北園森林公園
- スペシャルイベント：
 - ・軽スポーツ
 - ・太極拳、コーラス、植物でおもちゃ作り等
- スタッフ：
 - ・老人クラブ
 - ・ふれあいシニアの会

＜4月15日に開催されたわくわく亭の様子＞



皆で太極拳

インストラクターの皆さん



タンポポのおもちゃ作り



ドッチビーが加わった



手作りケーキが当たるかな？



将棋名人戦



井戸端会議に花が咲く？

ひがし野地域連絡会議の予定

平成29年度第1回目のひがし野地域連絡会議を以下のとおり行います。ひがし野地域にある団体等の代表者が、情報交換しながら課題・問題点の話合いを行い、それぞれの活動に役立てていただくことを目的とする会議です。

- 日時：5月28日(日)10:00-12:00
- 場所：守小コミュニティスペース
- 議案：・自己紹介と団体の活動状況報告
・会議構成員の情報を記した名簿の開示同意の確認と守秘義務事項への署名

あいさつ運動の予定

平成26年から継続している、守谷地区一斉のあいさつ運動を今年も春と秋の2回行います。絆づくりのはじまりは、まず挨拶からとの合言葉のもと、地域の皆さんが顔見知りになってもらい、安心して暮らせるまちにしようという活動です。子供から大人まで皆が、あいさつの習慣づけのきっかけにしたいと思っています。

- 日時：5月29日(月)~6月2日(金)7:30-8:00
- 場所：郷州沼崎線3丁目交差点
1丁目6班近くの常総線踏切

今年も『みんつく食堂(子ども食堂)』を開催！

子どもから大人まで奮ってご参加下さい。

- 日時：5/27, 6/24, 7/22, 8/26, 9/30, 12/16(全て土)
15時~17時：調理&遊び 17時~19時：食事
- 場所：明治神宮隣の栄町公民館
- 参加費：大人300円、中学生以上200円、子ども100円

質問等は事務局の平山まで、
ご連絡おねがいします
[携帯080-5375-8895]

地域福祉活動計画の助成金

地域福祉活動計画に対する市の助成金制度を活用して、活動の活発化を図っています。平成28年度は右表の助成金を受けました。守谷地区(5ブロック)の予算は1,358,000円で、その中の1ブロックであるハッピーひがし野では表に示す3件(*)計340,000円で、機材購入などに役立てました。

平成29年度も助成金申請を積極的に提案して

いただきたくよろしくお願いいたします。助成金はハッピーひがし野会議の場で実行委員から募集し、守谷地区実行委員会での審査を受けた後、市による審査・認可を受ける仕組みになっています。

事業の名称	助成金(円)
(守谷地区共通) 地域福祉活動計画広報の支援	280,000
1丁目コミュニティ広場の開催*	50,000
プレイパークの活動拡大*	100,000
わくわく亭の立ち上げ*	190,000

あわんどり

ひがし野町内会では、昨年から復活させた「あわんどり」を今年も1月15日に城址公園で行いました。当日は快晴の中、町内会のみならず、近隣町内会や遠方からたくさんの方々にお出で頂きました。14時に着火すると、ごうごうとした炎が巻き上がり、冬の青空を焦がしました。火が下火になると、めいめいが竹に刺した餅を火にかざして焼いた丸餅を食べ、無病息災を祈りました。

実施にあたっては町内会で構成した実行委員12名、班長の皆さん、ご家族、地域の経験者と消防団第2分団の皆様のご協力をいただきました。特に前日は非常に寒い中、皆さん一丸となって竹の切り出し、カヤの刈り取り、やぐらの建て方と頑張ってくださいました。ありがとうございます。

<あわんどりとは>無病息災や豊作を願う小正月の火祭りのこと。どんど焼きと同じ。竹で組んだやぐらに正月に使った門松やしめ飾り、人形、だるま、お守り、破魔矢、書き初めなどを積み上げて燃やす伝統行事。



広瀬さんが竹を選定



柱用に太くて長い青竹を5~6本



柱を立て、根元を補強



脚立で上までカヤを積み上げ



ご祈祷



受付にはこんなに行列が



竹の先にお餅を刺して焼いています

着火するとたちまち大きな炎



消化開始、消火器の練習にも



消防団の皆さんありがとうございます



老人クラブにて防犯・交通安全講座

1月10日に、市交通防災課から講師を派遣していただき、プランズシティ守谷のパーティールームで防犯・交通安全講座を開きました。電話詐欺・訪問販売・交通安全・高齢者の安全等、日常生活に潜む犯罪や交通事故の対策について説明をしていただきました。出席者からも活発な質問が出され、今後の安全対策に役立ったと考えます。





ひがし野町内会平成29年度総会

4月9日に、保健センターでひがし野町内会の総会が開催され、会員数487人のうち98人が出席されました(委任状255人)。平成28年度の事業報告、平成29年度の役員選出、平成29年度の事業計画の3議案が議決されました。

今年度のイベント関連ですが、秋のイベントとあわんどりについて開催の是非・形態に関して役員会で審議し決定することが決まりました。また新たに町内会活性化のための活動を役員会で企画し遂行することも決まりました。

GES(グリーン・イースト・サポーターズ)の活動報告

4月9日のひがし野町内会総会の最後に、GESのリーダー滝下さんが活動状況報告を行いました。年間13回の作業を計画しており、おちゃやばし公園と花壇8ヶ所のメンテナンスに加え、ティーパーティとラベンダー狩りを6月に行います。また新たな活動として、環境美化の日ひがし野町内会・ブランドシティ守谷自治会・サーパス自治会に一齐に行っていたく郷州沼崎線沿い90ヶ所の花壇への花植え関連で、準備や湯水時のメンテナンス活動も加えました。



花壇のお世話

ティーパーティとラベンダー狩り



GESティーパーティ



サツマ芋収穫



お花見しました！！

今年の桜の開花は少し遅れ気味でしたが、城址公園や北園森林公園では4月6日頃には満開になりました。待ちきれずに早めに行われたお花見の写真をお届けします。例年この時期は開花と春雨が追っかけっこですが、4月2日・3日幸い晴れ上がりました。桜は5分咲きにもなっていませんでしたが、にぎやかで楽しいお花見ができました。来年は皆さんも参加しませんか。

八重桜は少し遅めなので、城址公園土手沿いは、この広報紙がお手元に届くころでも、まだ残っているかもしれません。ぜひ公園に足を運んでみてください。



4/3 老人クラブ

4/2 GES



<特別寄稿>

平成29年度ひがし野町内会総会の際、GESの活動報告の後で以下のスピーチがありました。ハッピーひがし野としても、街づくりの視点から貴重な内容と考えましたので皆様にご紹介いたします。

街(まち)づくりについて思うこと

私はひがし野が大好きです。

取手に5年、我孫子に1年、海外に4年、また戻って来て取手に6年住んでいました。子供が2人できて上の子が幼稚園に上がる段階で子供のためにもずっと住むのに良いところはないかと、土地選びをしていました。最初は我孫子や取手、牛久や龍ヶ崎、そして守谷もぐるぐる車で回っていました。その頃ひがし野はまだ造成仕立てで、家はまだまばらにしか建っていませんでした。でも森林公園と城址公園を見たときここだとビビビッときました。

皆さんもひがし野の環境が好きになり、利便性が良い、緑や自然が多い、子育てにはいいんじゃないかな、老後もゆったり暮らせるかな、と思って移り住んだんですね。



じゃあこの素晴らしい環境はだれが作っているのでしょうか、だれが維持しているのでしょうか？

守谷市ですか？ 昔ここに住んでいた人たちでしょうか？ そうではないと思います。きっかけを作ったのはそうでしょうが、今このひがし野を作っているのは、ここに住んでいる私達です。じゃあどうやって、このひがし野をもっと住みよい、住んでいることを誇れる街にできるでしょうか。住みよい、誇れる街とは何でしょうか。

ちょっと考えてみましょう。

同じ町内に住んでいるという事は実はそれだけで、すでに利害関係が発生しています。例えば、お隣さんとは嫌が応でも柵を隔てて接しているわけで、音や匂い、景観を共有してしまいますよね。もし、お隣が洗濯物を干しているのに、草木に突然殺虫剤を撒いたら怒りますよね。週末の早朝から突然ピアノの音が鳴ったら迷惑ですよね。犬が吠えたら怖いですよね。じゃあこんな事が起こらない為にはどうすれば良いのでしょうか？

それはお互いに良く知り合う事だと思います。

人は知らないことに対してまず第一に拒絶する傾向があります。知らないものを怖がります。家族構成とか、何か疾患を患っているとか、共働きだとか、ちょっとでもお隣さんの境遇が分かっていたら、洗濯物が干されてるから今はできないなとか、明日やると一言伝えておこうとか、かわいい犬とふれあいたい、というふうになりますよね。わざわざ相手が嫌な事をする人はいないですよね。お互いがお互いを気遣う、譲り合う、思いやる。大事なことですよね。ぼくらが子供のころは当たり前にあったように思います。でも、いつからかずいぶんドライになってきてしまいました。これは、お隣さんでもあるのに町内会という大きな組織に対してはさらに避ける傾向が強いです。それはよく知らないからです。

じゃあ町内会をよく分かった上でみなさん避けているのでしょうか。

まあ、分かっているといえるのは本部役員をやったことがある人くらいでしょう。でもその本部役員も1年交代の持ち回りなので、引き継ぎがあつたとしても最初はどうも素人です。まあ複数年携わらなければわからないでしょう。でもそれは当たり前です。やっていただいて分かってもらえばいいのです。経験者が増えれば最後はみんな分かる人になれるのです。

町内会には大きなメリットもあります。

一人ひとりの力では無理でも、町内会という単位なら成しえます。この交差点があぶないからミラーを設置してくれと、一個人が言っても市は聞いてくれません。町内会という単位ではそれを積極的に聞いてくれます。それが、ひがし野のように大きな自治会になればなおさらです。ひがし野を良くするためには積極的にこの力を使った方が良くないですか？

でもそのためには、町内会が組織として機能しなくてはならないのです。民意として市に提案できなければ何も起こりません。そのためにも皆さんにもっと関わってほしいのです。

今でもひがし野の民度は高いと思います。公園や道端にはほとんどゴミも落ちていないですよ。森林公園で草刈りやゴミ拾いをGESが始めた頃に比べれば相当きれいになりました。

みなさんは人の為に何かしたい、子供達の為に何かしてあげたいと思いませんか？

でもボランティアやってる奴らは自己満足、いい人ぶってる、意識高い系の人だからと斜に見てませんか。まあ、そうだとすると、その何が悪いんでしょうか？ だってさっき、あなたも人のために何かしたいと心の中で思ってたんですか？ ボランティアはいいけど、町内会はやだなと思う人もいますよ。

町内会は基本ボランティアです。

ボランティアをやる人たちはなんで、得にもならないことをやっているのでしょうか。自分たちは特別だと思っているのでしょうか。そんなことは思っていません。ここにいるみなさんと全く一緒です。仕事が暇だからやっているのでしょうか。多忙な人もいます。子供に手がかからなくなったからやっているのでしょうか。小さい子供がいてもやられている方はいます。

ただ、利己的ではなく利他的になろうと決めただけです。

なぜなら、その方が気持ちがいいからです。ある研究によると利他的な行動をする人は利己的な人より幸福度が高いという結果もあります。私は他人にしてあげたことは、いつか自分に帰ってくると思っています。それは悪いことも、良いこともです。因果報応という言葉がありますが、必ず原因があって結果があります。

班長として町内会に関わることができるのは幸か不幸か、普通は10年に1度くらいです。年に12回の役員会とそして総会、月2回の配布物の配布と回覧、イベントとその前後の打ち合わせ、年2回の会費の集金。365日のうちのほんの僅かな時間です。町内会を知るには少なすぎますね。

私はこの大好きなひがし野がもっと住んで良かったと思える街にできると思っています。

私が思う誇れる街とは、子供達が子供のころ住んでいたところはいい街だったと思える故郷。そしてお互いを思いやり、支え合える、そんな街だと思います。これは一朝一夕でできることではありません。ひがし野の町風というかそういうものができてきたらいいですね。ぜひ皆さんにはこの機会に積極的に町内会やボランティアに関わっていただき、住みやすい、誇れる街とは何かを考えていただきたいと思います。宜しく願いいたします。

GES(グリーン・イースト・サポーターズ)に参加を希望される方は、お近くのメンバー又は私(下記)に声をかけていただき一緒に活動をしませんか。

連絡先: 滝下 (TEL: 0297-51-3141 E-Mail: shiektak@yahoo.co.jp)



編集後記

ハッピーひがし野の地域福祉活動計画は、いわゆる狭義の福祉にとどまらず、街づくり全般の課題に取り組んでまいりました。これをサポートすることを目的にした本紙は、地域福祉活動計画の内容を皆様に理解していただき、個々の活動に積極的に参加していただけるよう、できるだけ多くの情報を掲載してまいりました。

最初のページでもご説明しましたように、第一期では新しい芽は出てきましたが、多くの実現できないこともありました。第二期では、介護保険制度改正等から生じる「高齢者など弱者の見守りと生活支援の実現」が目標として求められますが、皆様のご理解とご協力が十分に高まらない中、実現性には大きな不安があります。

今後皆様におかれては、高齢化社会に直面する中で、何が地域住民に求められるのかを理解していただいた上で、地域福祉活動計画へのご協力をよろしくお願いいたします。

ハッピーひがし野 代表 亘理達